かこ☆くら活動ガイドライン説明会 スポーツ・文化3団体 質疑応答内容まとめ

	主な質問内容	代表例	同内容の 質問件数	主な回答内容
1	活動場所について	① かこ☆くらで小学校施設は使用しないのか	1	かこ☆くらでは、中学校施設を優先的に使用します。活動場所が足りない状況が生じた場合は、小学校施設の使用についても検討する場合があると考えています。また、かこ☆くらの取組みとは別に、現在、市の施設に統一した予約システム導入の調整が進められており、その関係から小学校施設の運用を見直すことも検討されています。
		② 中学校施設及び備品の優先利用に関して、社会体育団体の利用場所はなくなってしまうのか	3	中学校施設は中学生のための施設であるという観点から、かこ☆くらの活動で優先使用することとしており、現在使用されている社会体育団体等には、別途活動場所の確保をお願いすることになります。
		③ 公共のスポーツ施設については、空調費も含めて使用料が全額免除なのか	1	中学校施設以外の公の施設については、優先使用はできませんが、使用した際の使用料については全額免除となります。
		④ 地域クラブへの優遇措置について、 登録区分の見直しに係る調整期間と はどれくらいの期間を想定されてい るのか	1	新たに地域クラブを立ち上げられた場合、活動当初は中学生の会員がいないことが想定されるため、その間は優遇措置を適用する調整期間を設けていますが、現段階では具体的な期間は定めていません。市立学校の児童生徒へ周知を行い、参加を促したうえで、活動状況を確認しながら、登録区分の見直しを行っていきたいと考えています。

	主な質問内容	代表例	同内容の 質問件数	主な回答内容
3		 ① お手伝いをお願いする保護者も受講する必要があるのか。研修が負担となり指導者確保のハードルが上がることで急遽の対応が困難になるため、その点も考慮していただきたい。 ① 地域クラブの指導者には、必ず報酬又は手当を支払わなければならないのか。また、部活動の顧問は4号業務手当や出張旅費が支払われているが、その予算をかこ☆くらに活用することは検討しているか。 	1	保護者の安心につながるため、見守りを行う指導者も含めて活動開始までに研修を必須としています。ただし、市としては受け皿確保も課題であるため、バランスを考慮し、研修をオンラインで受講できるなど、可能な限り負担軽減を図っていきたいと考えています。 持続可能な活動とするため、報酬又は手当を受け取っていただくことが望ましいと考えています。しかしながら、ボランティアとして関わることも可能です。 現在の部活動顧問は県が人件費を負担する教職員であり、4号業務手当や出張旅費は県から支出されているため、それを市の判断で活用することはできません。かこ☆くらに関する予算は、現在検討を進めていますが、国や県の負担についても要望しており、それらも含めた検討になると考えています。
		② 教員に対して4号業務手当が出されている現状を踏まえ、兼職兼業教員への支援として市が助成することは検討しているか。	1	兼職兼業教員は、他の地域指導者と同様の立場となることから、兼職 兼業教員のみに支援することは難しいと考えています。

	主な質問内容	代表例	同内容の 質問件数	主な回答内容
4	地域クラブの大会参加について	 ① 市外の生徒も参加者として参加することができるとあるが、大会参加も可能か。中体連大会の参加資格を満たすことができるのか。 ② 中学校部活動では、東播大会や県大会へ出場した際の補助などがあるが、かこ☆くらではどうか。 	1	本市においては、部活動の終了と地域クラブの開始が対となるため、大会出場意向のあるこどもたちへはどちらで大会に出場したいかも含めて選択できるようにしていきたいと考えています。中体連としては、市が認める地域クラブは出場が可能になると聞いていますが、他市町の生徒まで参加ができるかは定かではありません。かこ☆くらは、上位大会への進出からレクリエーションまで幅広い活動としており、上位大会への出場に対する補助が相応しいか検討が必要と考えています。一方で、国は、経済的困窮世帯への支援策を行うよう示しており、市としては、その他の支援策も含めて幅広に検討しているところです。 部活動の地域展開は、保育料の無償化や給食の無償化と同様に、自治体間競争になるのではないかといった懸念もあります。そのため、国や県、他自治体の動向も注視しつつ、引き続き検討していきます。
į,	を経済的困窮家庭への 支援のあり方につい て	① かこ☆くらにこどもたちが参加できるかどうかは、送迎や会費負担の問題から、保護者の判断に委ねられることになる。経済的に苦しい家庭については、市としてどのように対応していくのか。	1	国において、経済的困窮世帯への支援のあり方について検討するよう 示されています。また、自治体ごとに支援内容が異なることによる不 公平感がないよう、国として会費額の目安を示すとされています。これを受けて、現在、国や県、他の自治体の動向を注視しつつ、支援策 について検討しているところです。

	主な質問内容	代表例	同内容の 質問件数	主な回答内容	
6	情報発信について	① こどもたちに対して、かこ☆くら地域クラブをどのように周知していくのか。	1	来年度の初めに、登録した地域クラブの一覧表を学校を通じて児童生徒へ配付するほか、市ホームページやスクリレ等を活用して広く市民や保護者にも情報発信していきたいと考えています。	
		② 来年度の中学1年生が、先行実施種目以外も含めて中学入学時に地域クラブの申請状況を確認できるようにしていただきたい。	1	先行実施種目以外の全ての種目にかかる地域クラブの募集を、今年度中に行いたいと考えています。申請状況や結果については、来年度当初にどの程度取りまとめて公表できるかは分かりませんが、エリアごとの申請種目については、個別に相談していただければ対応できると考えています。また、学校と連携して、こどもたちや保護者にも情報を発信していきたいと考えています。	

